

GD-30 型 減圧弁

VALVEX

取扱説明書

この度は、ヨシタケ減圧弁をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。お求めの減圧弁を正しく安全にご使用して頂くために、ご使用になる前に必ず本文をお読みください。また、この書類は大切に保管して頂きますようお願いいたします。

—————本書の中で使用されている記号は以下のようになっています。—————

△警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

△注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

目 次

1. 仕様	1
2. 寸法及び質量	1
3. 作動説明	2
4. 呼び径選定図表	3
5. 設置要領	
5.1 配管図例	4
5.2 製品設置時の警告・注意事項	4
6. 運転要領	
6.1 製品運転時の警告・注意事項	5
6.2 調整方法	5
7. 保守要領	
7.1 故障と対策	6
7.2 保守・点検時の警告・注意事項	6
7.3 分解方法	7
7.4 分解図	7
アフターサービスについて	

YOSHITAKE

1. 仕様

適用流体	蒸気		
接続	JIS Rcねじ		
一次側圧力	1.7 MPa 以下		
二次側圧力	種類	ばね色	設定圧力範囲
	Aばね	黄色	0.02~0.1MPa
	Bばね	青色	0.05~0.4 MPa
	Cばね	黄緑色	0.35~1.0 MPa
最小差圧	0.05MPa		
最大減圧比	10:1		
最高使用温度	210℃		
弁座漏れ量	定格流量の0.1%以下		

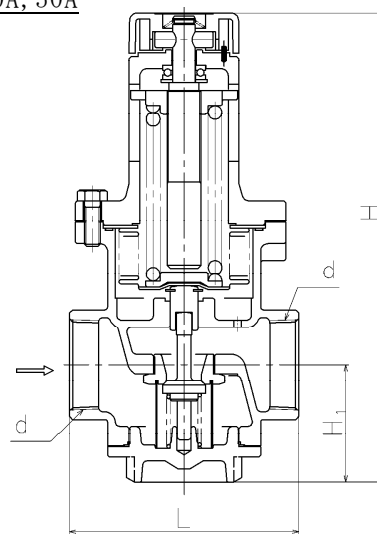
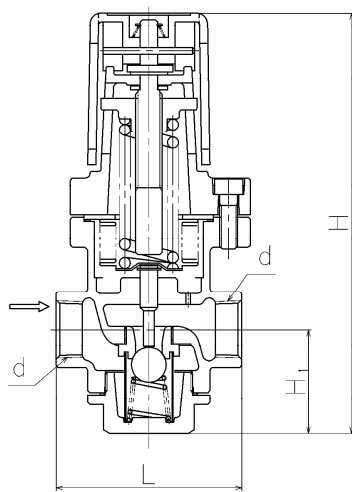
△注意

製品に付いている銘板表示内容と御注文の型式の仕様内容を照合してください。
 ※内容が違っている場合は、使用しないで当社にお問い合わせください。

2. 寸法及び質量

15A, 20A, 25A

40A, 50A



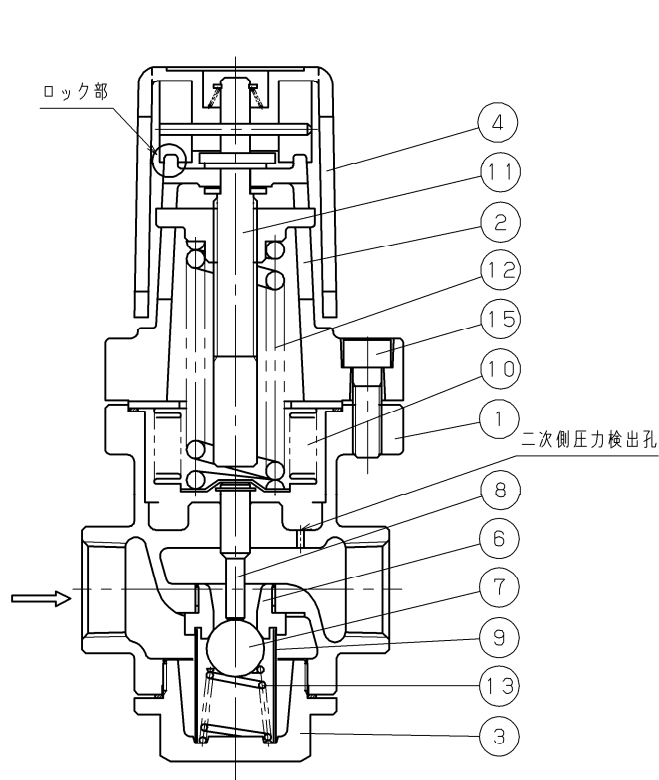
(mm)

呼び径	d	L	H1	H	質量 (kg)
15A	Rc 1/2	80	47	191	1.9
20A	Rc 3/4	85	47	191	1.9
25A	Rc 1	95	47	191	2.0
40A	Rc 1 1/2	140	77	307	10.1
50A	Rc 2	150	77	307	10.4

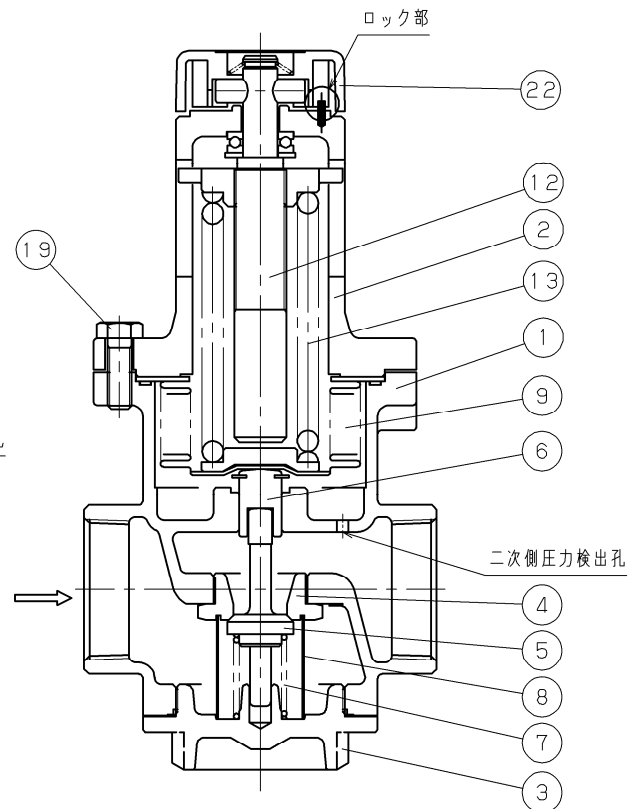
3. 作動説明

ハンドル(④, ②②)に連結された調節ねじ(⑪, ⑫)を回すことにより、調節ばね(⑫, ⑬)が圧縮されると、ベローズ(⑩, ⑨)、弁棒(⑧, ⑥)を介して弁体(⑦, ⑤)が開きます。弁体が開き二次側へ流れ出した蒸気は、二次側圧力検出孔を通してベローズの下に上向きの力となって調節ばねの力と相対します。この上下の力が釣合をとり、弁開度を調整して二次側圧力を一定に保持します。

15A, 20A, 25A



40A, 50A



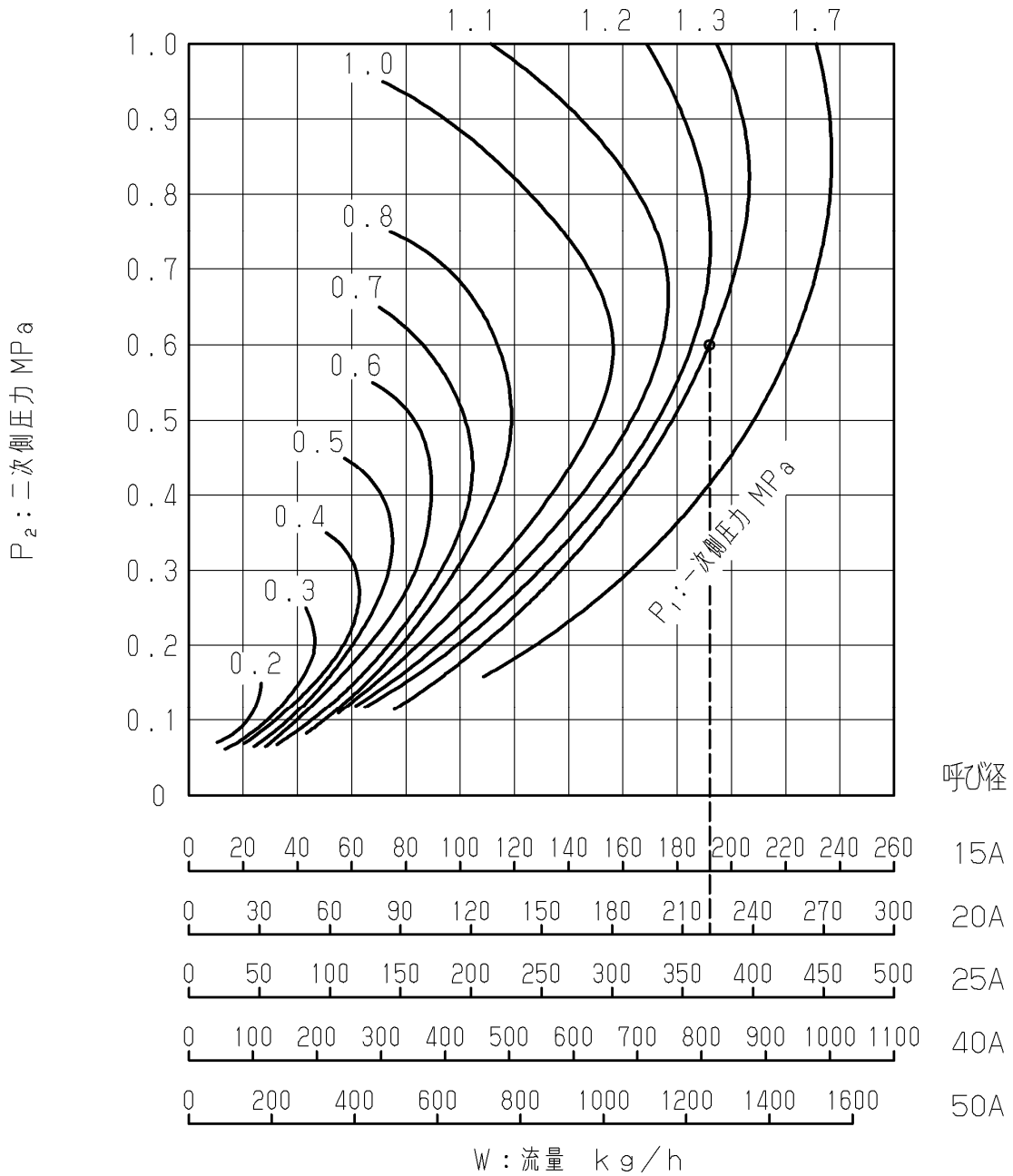
15A, 20A, 25A

No.	部品名	No.	部品名
1	本体	9	スクリーン
2	保護筒	10	ベローズ
3	キャップ	11	調節ねじ
4	ハンドル	12	調節ばね
6	弁座	13	弁体ばね
7	弁体	15	六角穴付きボルト
8	弁棒		

40A, 50A

No.	部品名	No.	部品名
1	本体	8	スクリーン
2	保護筒	9	ベローズ
3	キャップ	12	調節ねじ
22	ハンドル	13	調節ばね
4	弁座	7	弁体ばね
5	弁体	19	六角ボルト
6	弁棒		

4. 呼び径選定図表



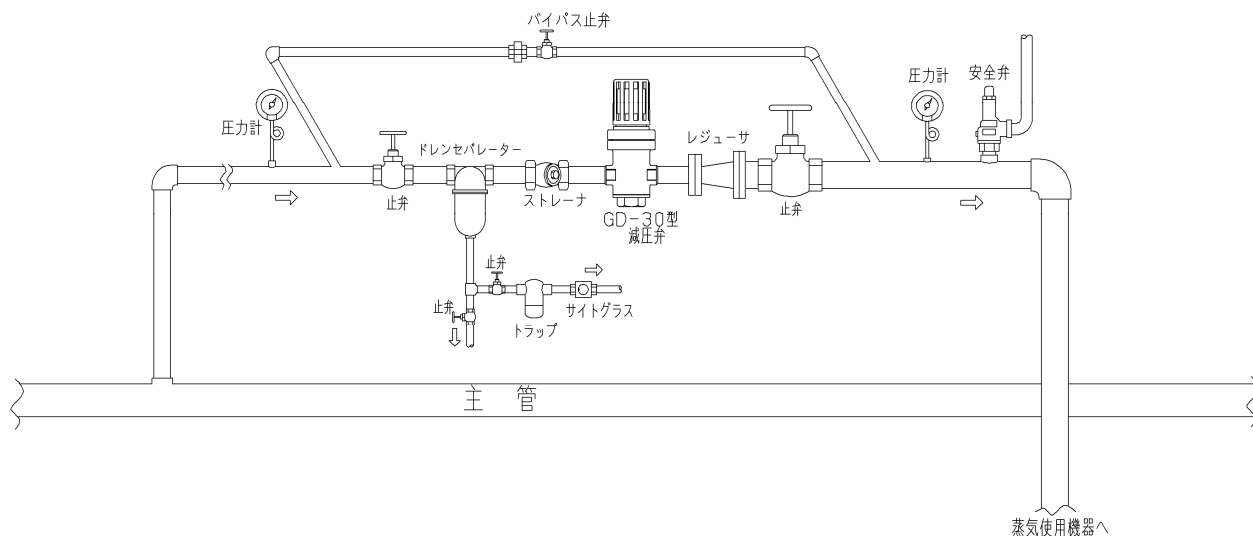
例題

一次側圧力 (P_1) 1.3MPa、二次側圧力 (P_2) 0.6MPa、流量 200kg/hの減圧弁に対する呼び径の選定方法は、一次側圧力1.3MPa、二次側圧力0.6MPaとの交点を求め、交点より垂直に下り、流量が200kg/h以上の呼び径を選定します。この場合は呼び径が20Aになります。

注) 上記呼び径選定図表は実測データによるものです。上記線図でもわかる様に圧力差と流量に一定の関係が無い為、固定されたCv値の算出が出来ません。

5. 設置要領

5.1 配管図例



5.2 製品設置時の警告・注意事項

⚠警告

減圧弁の出口側に安全弁を取付ける場合、安全弁の出口側には吹出し管を接続し、蒸気が吹き出しても安全な場所へ導いてください。
※蒸気が吹き出した場合、火傷をする危険があります。

⚠注意

- (1) 製品は、むやみに分解しないでください。
※ むやみに分解しますと、製品の機能が果たされません。
 - (2) 製品を配管する際、配管内の異物等を必ず除去してください。
※ 製品内に異物等が混入しますと、本来の性能が活かされません。
 - (3) 製品の入口側には、ストレーナ(80メッシュ)を取付けてください。
※ 異物等が混入しますと、本来の性能が活かされません。
 - (4) 製品の出口側には、警報用として安全リリーフ弁を取付けてください。
※ 製品の異常を確認する事ができず、機器等が損傷する恐れがあります。
 - (5) 製品の入口側・出口側には、必ず圧力計を取付けてください。
※ 圧力計を取付けないと、正しい圧力調整ができません。
 - (6) 製品の入口側には、ドレン障害防止のためのトラップを必ず取付けてください。
※ ドレン障害を受ける恐れがあります。
 - (7) 電磁弁等の急開閉弁を取付ける場合は、減圧弁から3m以上離して取付けてください。
※ 作動不良が発生し、製品の寿命が著しく短くなる恐れがあります。
 - (8) 二段減圧する場合は、製品の間を3m以上離して取付けてください。
※ 作動不良が発生し、本来の性能が活かされません。
 - (9) 取付けは出入口を確認して取付けてください。
※ 取付けを間違えますと、製品の機能が果たされません。
 - (10) 製品に無理な荷重、曲げ、振動等が伝わらないように配管してください。
※ 作動不良が発生し、製品の寿命が著しく短くなる恐れがあります。
- (11) 製品取付け姿勢は、水平配管に対して垂直に取付けてください。
 - (12) バイパス管を取り付けてください。(5.1 配管図例参照)
 - (13) 安全リリーフ弁の設定圧力は、減圧弁の調整圧力より高くしてください。
 - (14) 減圧比が大きい場合は、レギュレーサを取付けて流速の過大を防止してください。
(管内流速は、20~30m/sが適当です。)

6. 運転要領

6.1 製品運転時の警告・注意事項

△警告

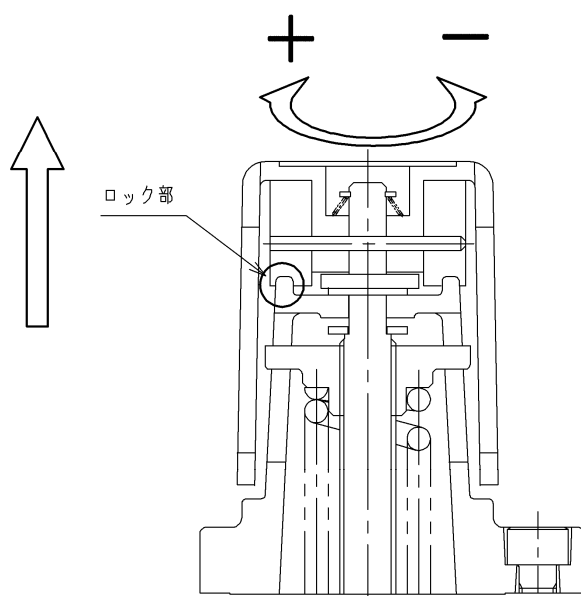
- (1) 素手で直接製品に触れないでください。
※火傷をする危険があります。
- (2) 蒸気を流す前に、配管末端に蒸気が流れても危険のないこと、また配管接続部が確実に接続されていることを確認してください。
※蒸気が吹き出した場合、火傷をする危険があります。

△注意

- (1) 通気時には製品前後の止弁を閉弁し、必ずバイパス管にて異物等を完全に除去してから使用してください。また、配管の各止弁はゆっくりと開いてください。
※製品内に異物等が混入しますと、本来の性能が活かされません。また、止弁を急激に開くと、ハンチング・ウォーターハンマー等を起こし、製品や機器が破損する恐れがあります。
- (2) 圧力調整は、ハンドルをゆっくり回してください。
※ハンチング・ウォーターハンマー等を起こし、製品や機器が破損する恐れがあります。
- (3) 長期休止される場合は、製品や配管内の流体を完全に抜き、製品前後の止弁を閉じてください。
※製品や配管内の錆発生により、製品が作動不良を起こす恐れがあります。

6.2 調整方法

- (1) ハンドルを持ち上げてロックを外します。
- (2) ハンドルを持ち上げたまま、ハンドル上部銘板のプラス方向(時計回り)に回しますと、二次側圧力が上がります。マイナス方向(反時計回り)に回しますと二次側圧力は下がります。
- (3) 手を離しますとハンドルは下がりロックされます。

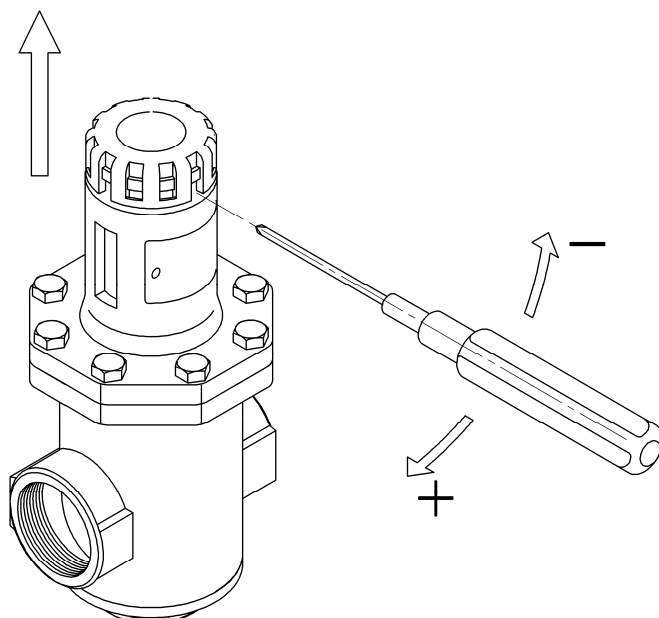


△注意

- ハンドルが熱くなることがありますので、軍手や皮手を着用してください。
※火傷をする危険があります。

※高圧設定でハンドルが回しにくい場合
(40A、50A)、次の要領でドライバー
(軸径φ6)等を使って設定を行なっ
てください。

- (1)ハンドルを持ち上げてロックを外します。
- (2)ハンドル側面の切り欠き部分からドライバ
ー等を十分に差し込み(この時ロックは外
れたままになります)、左右に回します。



7. 保守要領

7.1 故障と対策

故障状況	故障原因	対策及び処置
希望圧力に達しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1.使用圧力が適切でない。 2.仕様に対して呼び径が小さ過ぎる。 3.調整が適正でない。 4.製品前に取付けてあるストレーナが目詰まりをしている。 5.GD-30が内蔵しているスクリーンが目詰まりをしている。 6.圧力計が故障している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.適正值に変更してください。 2.適正な呼び径に変更してください。 3.調整方法に従って再調整してください。 4.ストレーナを掃除してください。 5.スクリーンを清掃してください。 6.圧力計を交換してください。
所定以上に二次側圧力が上昇する。	<ol style="list-style-type: none"> 1.弁体、弁座に異物の噛み込みがあるか、又は傷がある。 2.二次側圧力検出孔に異物が詰まっている。 3.バイパス弁が漏れている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.分解して異物を除去してください。傷がある場合は交換してください。 2.分解して異物を除去してください。 3.修理するか交換してください。
異常騒音が出る。	<ol style="list-style-type: none"> 1.減圧比が大きすぎる。 2.ドレン障害が起きている。 3.弁の近くに急開閉弁がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.二段減圧にしてください。 2.トラップ装置を取付けてください。 3.距離をできる限り離してください。

7.2 保守・点検時の警告・注意事項

△警告

分解・点検をする時は必ず減圧弁・配管・機器の内部圧力を完全に抜き、減圧弁を冷やしてから行ってください。完全に冷えるまでは直接素手で触れないでください。
※残圧によってけがや火傷をする場合があります。また、周辺を汚す恐れがあります。

△注意

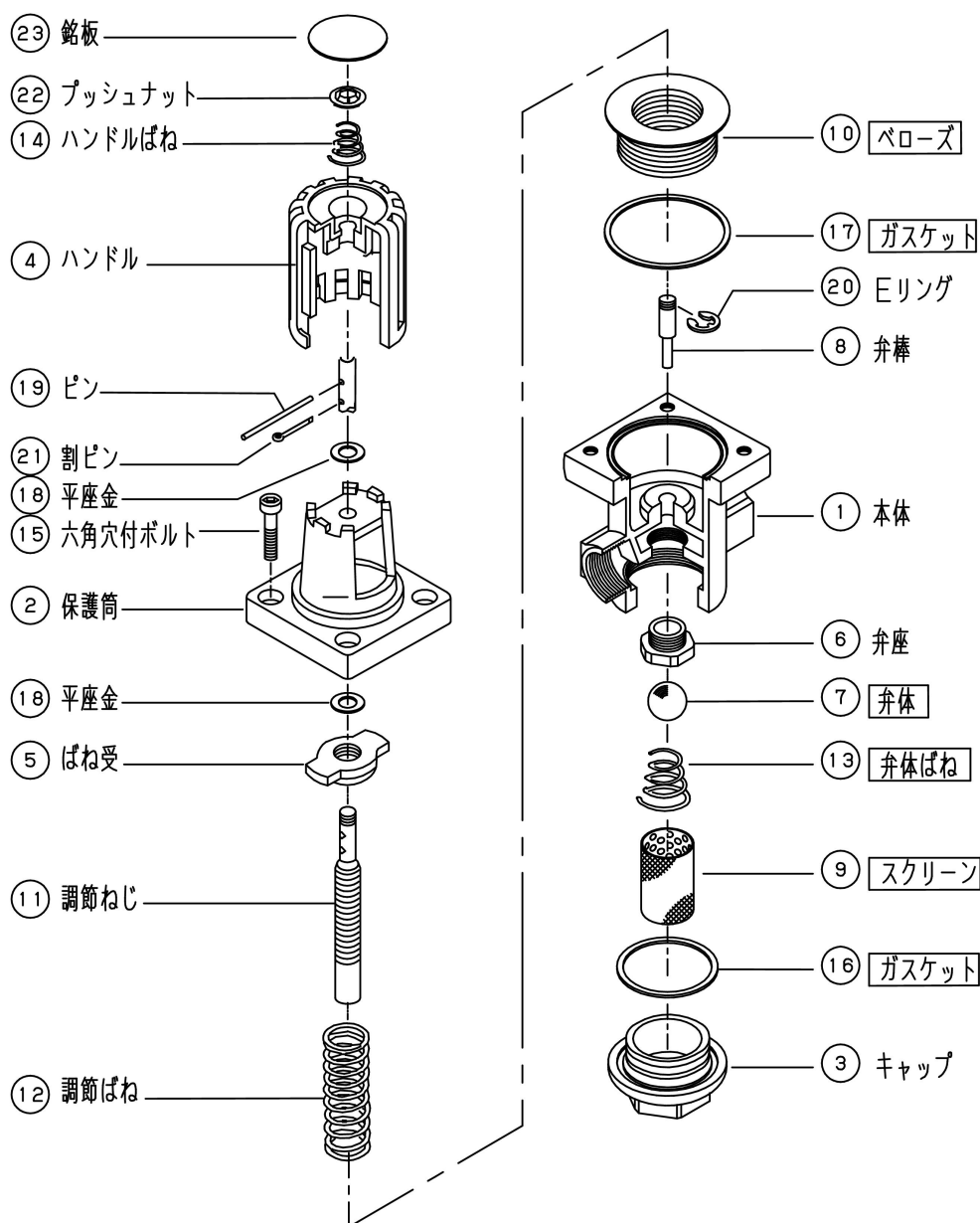
- (1)製品の機能・性能を維持するため、日常点検・定期点検を実施してください。
※一般の使用者は専門の設備・工事業者に処置を依頼してください。
- (2)分解・点検は熟練した専門の方や専門メーカーにて行ってください。
※異常がある場合は、専門の業者に処置を依頼してください。
- (3)分解時には内部のドレンが流出しますので容器で受けてください。また、製品内の蒸気(ドレン)を完全に抜いてから分解してください。
※ドレンを受けないと周辺を汚す恐れがあります。
- (4)通気時には減圧弁前後の止弁を閉弁して、必ずバイパス管にて異物等を完全に除去してから使用してください。
※減圧弁内に異物等が混入しますと、本来の性能が活かされません。

7.3 分解方法 (P 2、『3. 作動説明』の図を参照ください。)

- (1) 弁内部の圧力を完全に抜き、圧力計がゼロ圧を指示していることを確認します。
- (2) ハンドルを持ち上げながら、ハンドル上部銘板のマイナス方向 (反時計方向) に回し、調節ばねをフリーの状態 (無荷重の状態) にします。
- (3) 六角穴付ボルト (六角ボルト) を取り、保護筒 (ハンドル等は分解できません。) を外し、調節ばね、ベローズ、弁棒を取り外します。
- (4) キャップを左回転 (反時計方向) させて外し、本体から、弁体ばね、スクリーン、弁体を取外します。
- (5) 組立は分解の逆の手順で行ってください。保護筒を組付けの際、ボルトは4本共均等に締め付けてください。また、ガスケットやベローズのずれが無い様に組付けてください。

7.4 分解図

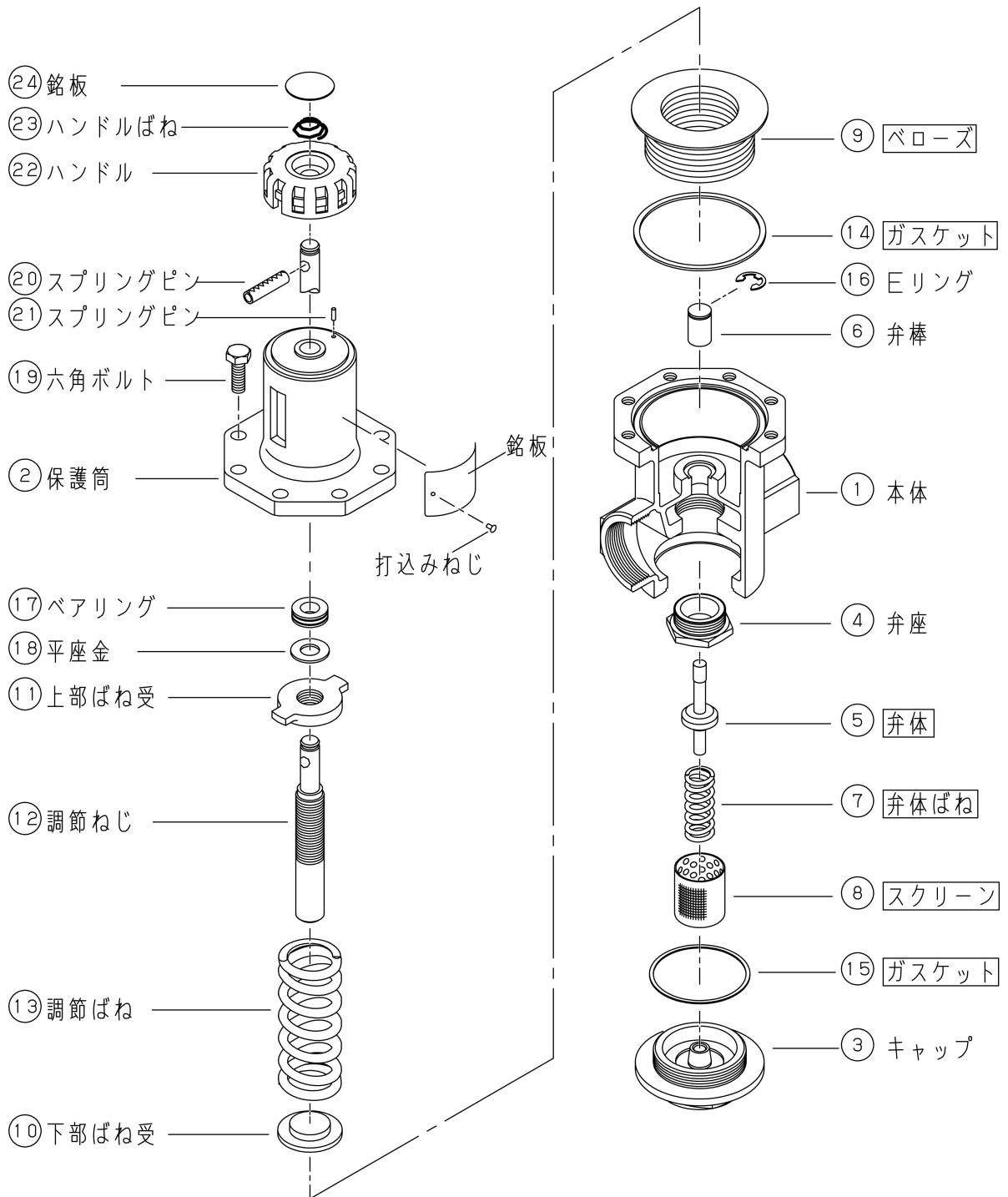
15A, 20A, 25A



注) 消耗品について

□ 内部品は、消耗品として用意しています。

40A, 50A



注) 消耗品について

□ 内部品は、消耗品として用意しています。

アフターサービスについて

1. 納入品の保証範囲及び保証期間

納入された製品は高度の技術と厳しい品質管理の基で製造いたしております。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って正しくご使用ください。万一材料または製造上の不具合がありました場合には、無料で修理させていただきます。

納入品の保証期間は、ユーザー様に納入し試運転開始後1ヶ年とさせていただきます。

2. 製造中止後の部品の供給について

製品は予告なく製造中止、改良を行うことがございます。製造中止した製品の部品の供給は、中止後5年間とします。但し、個別契約に基づく場合は除きます。

3. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。

(1)配管内のゴミ等による弁漏れ、または不安定作動が起こる場合。

(2)不当な取扱い、または使用による場合。

(3)消耗のはなはだしい部品などで、弊社から予めその旨申し出を行っている場合。

(4)異常水圧、異常水質等の供給側の事情による場合。

(5)水垢もしくは凍結に起因する場合。

(6)電源、空気源に起因する場合。

(7)弊社以外の不適切な改造がされた場合。

(8)設計仕様条件を超えた過酷な環境下(たとえば屋外使用による腐食の場合など)での使用による場合。

(9)火災、水害、地震、落雷その他天災地変による場合。

(10)消耗部品(たとえばテクニカルガイドブックに記載されているリング、ガスケット、ダイヤフラムなど)

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので納入品の故障や瑕疵により誘発される損害については、含まれませんのでご了承ください。

4. 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。なお、アフターサービスについては、弊社ホームページ(www.yoshitake.co.jp)のサポート&サービスからお問い合わせ窓口一覧より最寄りの営業所までご相談ください。